



津中央ヘルパーステーション シルバーケア 豊壽園

所属のスタッフの方に

右記①~③の質問をお聞きしました。

- ① 所属事業所ウリ
- ② 今後の目標
- ③ 休日の過ごし方/特技



津中央ヘルパーステーション
シルバーケア 豊壽園

高橋 由美

① 地域に根ざし、津地域を広くご利用者一人ひとりに寄り添ったきめ細やかなサービスを提供しています。対応させていただけるサービスの種類も多くご希望される時間にも寄り添える職員体制。ニーズに対応できる豊富な知識。経験年数の長い専門スタッフによる安心のサポート体制と、柔軟で迅速な対応力が強みです。

② 3事業所の統合によりスタッフ同士の交流が深まり、これまでに以上に連携のとれた支援ができるようになりました。地域にとらわれず幅広いエリアへ訪問できる体制も整い、より多くの方に訪問介護をご利用いただけるよう、やさしく丁寧な対応を心がけていきます。

③ 食いしん坊のため、作り置きをたくさん作っています。/ぐっすり眠れる事です。



津中央ヘルパーステーション
シルバーケア 豊壽園

山崎 由香理

① 経験豊富な職員が在籍し一人ひとりに寄り添ったあたたかく柔軟な対応が強みです。特に自立支援が群を抜いていると思っています。ライフサポートサービスでは共にお買い物に行かせていただく事ではじめは見るだけで気分転換の買い物から買いたい物をメモして買物を楽しみに待っていてくれるようになる変化を感じる事が出来ました。自宅での共に行う支援では自分でできる様になった喜びを感じていただき介護保険卒業に導く事ができた実績もあります。職員の年齢はバラバラですが人生経験も豊富なスタッフが困難ケースを乗り越えるバイタリティーにあふれています。

② 久居、中央、白塚の3事業所が統合し、事業所の垣根を超えて互いにカバーし合える体制が整いました。全職員が一丸となり連携を活かし、ご利用者一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな支援をこれからも提供できるよう頑張っています。

③ 美味しい食事を食べに行ったり、出かけたりしています。/変わらずボイ活でポイントを貯める事を継続中です。

洗心

想いと力を重ね、
新たな価値を創り出す。



p2. 洗心福祉会 美杉クリニック開設 10 周年に想う
p3. 医師と住民が語り合う、未来の医療のかたち
「Isha radio 公開収録 in 美杉」開催レポート
p4. 在宅介護支援センターつまちなか地域総合相談センター
シルバーケア 豊壽園 移転リニューアル

p5. 設立 20 周年の節目に、次代につなぐ
p6,7. New Face of 2026
p8. 今、輝いているあなたにクリック



発行 社会福祉法人 洗心福祉会 広報委員会

〒514-0831 三重県津市本町 26 番 13 号 | 059-222-7700 | <http://www.sensin.or.jp>



洗心福祉会 Instagram

洗心福社会 美杉クリニック 開設 10 周年に想う

美杉クリニック
院長 田島 和雄

はるか遠くまで連なる青山にかかる朝霧、季節毎に変化する草木の花や小鳥の鳴き声、天から降ってくるような夜空の星数、手元の文字が読めるほど明るい満月、そのような自然の美しい美杉町にクリニックが開設されて10年目を迎えております。

私は2013年に三重大学へ故 竹田寛病院長の顧問として赴任し、竹田病院長の親友だった社会福祉法人洗心福社会の故 山田俊郎会長(当時)を紹介され、高茶屋クリニックの院長を併任することになりました。その3年後の2016年、美杉町下之川に老人福祉施設を開設するに当たり、無医地区でもある同地域にクリニックを併設する話が故 山田会長から持ち上がりました。私が医学部の学生時代から抱き続けてきた地域医療の夢を、津市の桃源郷でもある旧美杉村下之川で、古希に近い年齢になって実現することになったのです。

この美杉クリニックは故 山田会長のご意向により、美杉の天然木材をふんだんに使っ

た自然の杉の香り豊かな木造作りです。また、待合室から診療室まで絵や書を飾り、リハビリテーション室には天然杉で音を奏でるスピーカーも設置し、訪問患者の方々の憩いの場になるように工夫されております。

さて、曹洞宗を開祖した道元禪師が留学先の中国南宋を去る時、彼が世話になった高僧たちのことを想いながら発した言葉が「我逢人」と言われています。まさに、私も広島で生まれ、「我人に逢うなり」に導かれて大阪大学の研修医として励み、愛知県がらんセンターにて国際的な医学研究に没頭し、現在は美杉クリニックで地域医療の仕事をさせて頂いております。そして還暦から始めた趣味の詩吟も吟道関心流奥伝範師として暁洲の格号を頂き、後期高齢者になってからはゴルフにも熱中しております。

創設時の私の院長としての信念は、第一に、住民が病気になる前の未病状態から健康増進を図るための予防に努めること、第二に、体調が少しでも悪くなった人は早期

に適切な治療を受けるように勧奨すること、第三に、当クリニックの診療機能の限界を補うために他の病院と連携を計りながら住民に安心できる医療を提供すること、などでありました。

これまで山田純大理事長を始め本部組織の支持を受け、現場の看護師、放射線技師、理学療法士、事務職員などのスタッフと協働体制を組みながら、美杉地域の住民の方々がいつでも気楽に利用できるような憩いの場としてのクリニックを構築していくように努力しております。特に、10周年をむかえるに当たり、美杉町や周辺地域の高齢者の方々の日常生活に欠かせない歩行機能の改善などを図る医療リハビリテーションを開始できますことは、長年の念願でも有り、住民の方々からも好評を受けております。

これからも全スタッフが協働体制を組みながら、地域住民の期待に添えることができるような美杉クリニックを目指し、誠心誠意、努力して参ります。



医師と住民が語り合う、未来の医療のかたち 「isha radio 公開収録 in 美杉」開催レポート

2026年1月24日、津市美杉町下之川の住民交流センターにて、音声番組「isha radio (医者ラジオ)」の公開収録イベントが開催されました。医師がパーソナリティを務め、医療や健康についてわかりやすく語るこの番組。今回は「疫学・予防学者からへき地医療へ——今、医師・医学生・住民に伝えたいこと」をテーマに、地域住民とともに医療の未来を考える特別な時間となりました。

番組の進行を務めたのは、総合診療医の江角悠太先生、麻酔科医の斎藤健一先生、在宅医の松波山水先生の3名。それぞれの専門性と温かい人柄がにじむ掛け合いで、会場は終始和やかな雰囲気になりました。

今回のゲストは、美杉クリニック院長・田島和雄先生。幼少期の病気の経験から医師を志し、整形外科、病理学、疫学と多分野にわたる研鑽を積まれた田島先生は、研究者としても国内外で活躍されました。世界的な研究成果を挙げながらも、常に「地域医療への想い」を胸に抱き続け、10年前、美杉の地にたどり着きました。

講演では、医師としての歩みや、専門性と総合診療のバランス、そして若い医師たちへのエールが語られました。「専門性も大切だが、まずは患者さんを総合的に診る力を持ってほしい」という言葉には、長年の経験と地域医療への深い愛情が込められていました。専門に偏ることで見落としが生まれる危険性や、総合診療の重要性についての具体的なエピソードは、若手医師や医学生にとっても大きな学びとなりました。

会場には町内外から38人の多くの方が集まり、笑いあり、共感ありの温かな雰囲気に。住民の皆さんからの質問や感想も交えながら、医療と地域のつながりを再確認するひとときとなりました。

イベントの様子は現在、YouTubeで配信中です。下記のQRコードより、ぜひご視聴ください。



在宅介護支援センターつまちなか地域総合相談センター シルバーケア豊壽園 移転リニューアル

「在宅介護支援センターつまちなか地域総合相談センターシルバーケア豊壽園」は、これまで津市の中心部に位置する津センターパレス内に事務所を構えていましたが、2026年2月に法人が運営する本町総合事務所2階へ移転しました。

移転先には、訪問介護事業・訪問看護事業・福祉用具事業が併設しており、在宅生活を支える専門チームが同じ場所に集まることで、これまで以上に連携を図りながら様々なニーズにお応えしていく環境が整いました。ご利用者の皆さまへの情報共有やサービス調整がよりスムーズになり、地域での暮らしを支える体制が一層強化されています。

当センターは、津市の受託事業でもあり、保健師や福祉の専門職が日々のお困りごとや健康管理についての相談をお伺いしています。具体的なアドバイスをさせていただくこともありますが、話をすることで安心される方、窓口を健康管理のパロメーターとして活用していただいている方など様々です。

移転を機に、これまで以上に地域の皆さまに寄り添い、安心して暮らし続けられるまちづくりに貢献してまいります。皆様のご来所を心よりお待ちしております。



設立 20 周年の節目に、次代につなぐ

嬉野保育園は今年、設立 20 周年という節目の年を迎えました。

開園から 20 年の月日が流れ、園舎のあちこちには、子どもたちの成長を見守ってきた“時間の跡”が刻まれています。保育室の壁面として長く使われてきた木材にも、日々の生活の積み重ねが表れています。手直しが必要な箇所も出てきていた環境でしたが、この記念の年に合わせて、卒園を控えた子どもたちと先生たちが協力し、その木材を再利用してペイントする取り組みを行いました。

当日は、子どもたちが刷毛（はけ）を手に、木材の表面を丁寧に塗り進めていきました。刷毛を動かすたびに色が重なり、20 年の間に少しずつ古びてきた木材が、新しい表情を取り戻していきます。

「きれいになってうれしい」「小さい子が使ってくれたらいいな」

そんな声が聞こえ、子どもたちの優しさや成長が感じられる時間となりました。

理事長も参加され、先生と一緒に子どもたちのそばで、時には手を添え、時には見守りながら、園の歴史に新しい色を加えていきました。ペイントを終えた木材は、再び保育室の壁面として生まれ変わり、これからも子どもたちの生活を支えていきます。

卒園式で子どもたちは、自分たちの手で園をきれいにしたあの日の表情のまま、誇らしげに巣立っていきました。

“自分たちが過ごした環境を自分たちで手直して、次へつないでいく”という今回のイベントは、嬉野保育園の 20 周年という節目にふさわしい、心温まる“最後の共同作業”となりました。





令和8年度入職の新たな仲間を紹介します。
どうぞよろしくお願いいたします。



安部 淳 Abe Jun

これまで積み重ねてきた学びを活かし、より成長と法人への貢献を心掛けていきたいと思ひます。



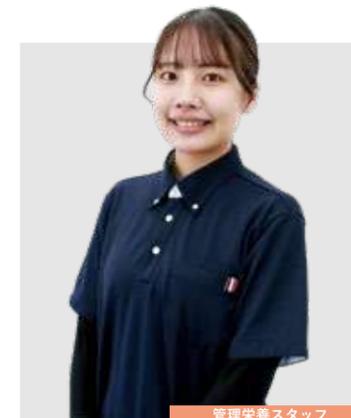
今井 杏奈 Imai Anna

ご利用の方が安心して過ごせるように一生懸命頑張ります。



安達 心愛 Adachi Kokoa

ご利用者に寄り添い、「食」を通じて支えていけるように頑張ります。



濱村 志乃 Hamamura Shino

ご利用者が穏やかに過ごせるように、初心を忘れず頑張ります！



山本 夢奈 Yamamoto Yuna

ご利用者や他職種との関わりを大切に頑張りたいです。



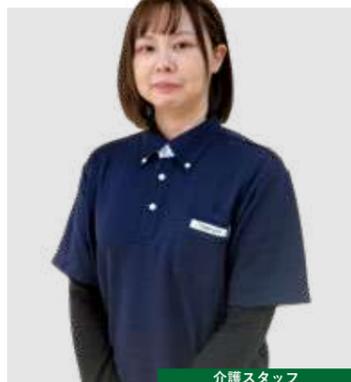
河口 恵子 Kawaguchi Keiko

ご利用者のお役に立てるよう、頑張りたいと思ひます。よろしくお願いいたします。



北村 芽依 Kitamura Mei

ご利用者の方と信頼関係を築き、笑顔溢れる元気いっぱいの介護を頑張りたいです。



中村 美月 Nakamura Mizuki

ご利用者一人ひとりの気持ちに寄り添い、安心と笑顔を届けられるよう頑張ります。



今西 美絵 Imanishi Yoshie

子どもたちに寄り添い、感動を共有したいです。よろしくお願いいたします。



小川 若葉 Ogawa Wakaba

子どもたちが笑顔で過ごせるよう寄り添いながら笑顔で頑張りたいです。



多賀 雅 Taga Miyabi

子どもたちと毎日楽しく過ごせるよう、笑顔で元気に精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



並川 百那 Namikawa Momona

笑顔大切に、ご利用者一人ひとりに寄り添った介護を提供します。



畑中 良太 Hatanaka Ryōta

ご利用者に少しでも幸せを感じてもらえるように頑張ります。



福森 葵 Fukumori Aoi

ご利用者の方に寄り添いながら安心していただけるような介護を行えるよう頑張ります。



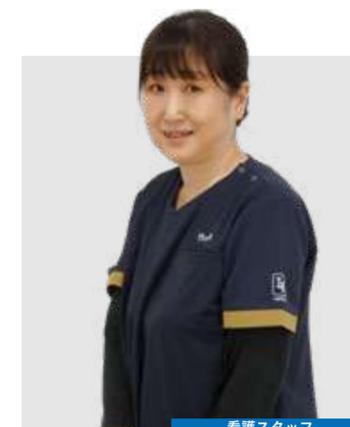
藤原 美玲 Fujiwara Mirei

信頼される保育士になれるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



角野 友里子 Sumino Yuriko

チームの一員として一生懸命頑張ります。



光根 緑 Mitsune Midori

ご利用者の望む暮らしができる笑顔でお過ごし下さるよう支援していきたいと思ひます。